

「あなたとわたしと部落問題」～社会同和教育講座～

知る・気づく・行動する

人権プラザ天白では、去る9月2日(日)に社会同和教育講座をヒューリアみえ(公益財団法人 反差別・人権研究所みえ)に所属されている吉原



隆行さんをお迎えし、見出しの演題にて講演いただきました。

お話の最初は「どうぶつ〇×クイズ」でした。会場の皆さんと楽しくクイズをしながら、「イメージだけで決めつけてしまうこと」「見ようとしないと見えないこと」「一つの情報だけで、全部がそうであると判断すること」「まちがった情報が広まって、まちがった認識をしてしまうこと」についてをお話しされ、こうしたことから偏見や差別が生まれるということに気づかされました。

続いて平成28年に施行された「部落差別解消推進法」の第一条(目的)から第六条までの内容についてわかりやすくお話ししていただきました。

最後は『これぞ不平等? あなたはどう思う?』というワークシートの問題に答えながら、ともすると「わたしは差別をしないし、されることもない。だからわたしは差別と関係ない」と多くの人が差別を肯定しないまでも容認してしまう危うさをもっている。社会には差別があるという認識をしっかりともち、差別を「個人の行動」としてのみとらえるのではなく、「社会の在り方」としてとらえることが大切である。部落差別をはじめとするあらゆる差別のない社会にするために、全ての人が「知る・気づく・行動する」ことが重要である。というお話をいただきました。